※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　現代生活科

教科	現代生活	科目	憲法とくらし	単位数	１単位	年次	2～4年次
使用教科書	特になし						
副教材等	自作プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

われわれが日常生活を送っていても、憲法との関わりというのはイメージしづらいかもしれません。しかし、私たちの平和で安全な生活は、憲法によって保障された様々な権利から派生したものであることも事実です。
この授業では、憲法の理論的な理解を深めつつ、実生活でどのように憲法が関わっているのか、権利保障と判例などをもとに具体的な理解を深め､憲法と生活の関わりを意識して社会に参画できるようになりましょう。

2　学習の到達目標

①国際社会を生きる国際人として必要不可欠な憲法の意義とその歴史を理解するとともに、国際社会における立憲主義の重要性を多面的に考察できるようにする。
②国際社会の平和を維持・発展させるためにどのような形で社会参画できるか、諸資料から客観的データなどをどのように活用するか判断し、その具体的な方策を表現できるようになる。
③人権保障などに関する国際的な諸課題の解決に向けて、主体的・協働的に具体的な方策を提案しようとする姿勢をもつ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	憲法に保障された国民の権利と、その保障に伴い生じている課題について多面的・多角的に考察するための知識・技能を身につける。	権利保障に伴う権利の衝突と公共の福祉の関係性について、問題の所在と具体的事例について必要な情報を整理し、分析・表現することができるようにする。	憲法による個々人の人権の保障のための課題解決について、互いの個性を尊重しながら主体的・協働的に取り組むとともに、持続可能な社会の形成に参画しようとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
	憲法とは何か	・憲法の誕生 ・憲法の歴史的意義 ・憲法の基本原理・原則	a:憲法の意義と歴史的背景、憲法を成り立たせている基本原理・原則について理解している。 b:立憲主義が歴史的に抱える問題の所在と具体的事例について必要な情報を整理し、分析・表現することができるようにする c:憲法の歴史的背景と諸原理について主体的に学習を深めようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 授業内課題	授業観察 ポートフォリオ
	日本国憲法の基本原理	・日本における憲法の歴史 ・明治憲法の特徴 ・日本国憲法の特徴	a:明治憲法と日本国憲法の共通点と差異について、各種歴史資料などをもとに情報を整理することができる。 b:日本国憲法の特徴について、その制定背景と基本原理との関係性を整理した上で自身の言葉で表現することができている。 c:日本国憲法の歴史的背景と諸原理、その重要性について主体的に学習を深めようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 授業内課題	授業観察 ポートフォリオ
	基本的人権①	・自由権 ・平等権 ・社会権	a:人権の根幹をなす諸権利と具体的に保障される行為との関係性について整理することができる。 b:日本国憲法に保障された権利が、具体的生活にどのように反映されているのかについて、判例などをもとに自身の言葉で整理し、適切に表現することができている。 c:日本国憲法に保障されている権利について、その重要	小テスト 定期考査	定期考査 授業内課題	授業観察 ポートフォリオ

※令和４年度以降入学生用

			性とどのように維持しなければならないかについて、具体的に方法を検討しようとしている。			
	基本的人権②	・新しい人権 ・人権保障と現代の課題	a:現代的諸課題に対応する中で保障されたさまざまな人権について、具体的事例を整理しながら諸権利の内容を理解することができる。 b:幸福追求権などの権利について判例などを整理しつつ、社会的マイノリティの権利保障の射程などについて具体的に検討し、諸課題の解決策を提示することがでいる。 c:人権保障と現代の諸課題の解決について情報を整理し、解決策を提示しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 授業内課題	授業観察 ポートフォリオ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度